

再度公開討論を申し入れる！

JR東海ユニオンは逃げずに堂々と対応を

ロッカーの隅でこそこそせずに公開の場で討論をしよう

2011年10月12日、JR東海ユニオン名古屋地本に対して、「新入組合員に対する嫌がらせ行為への抗議と謝罪の申し入れ」を行いました。この間JR東海ユニオンは名古屋駅分会中山分会長と浅羽書記長が東海労新入組合員に、様々な嫌がらせを繰り返しています。私たちは嫌がらせをやめることと、話があるのなら新入組合員を交え公開の場で討論（会話）に応じる用意があることを伝えました。

回答せず返信とは、あまりに無責任ではないか

彼は10月5日にJR東海ユニオンに脱退届を提出し、JR東海労に加入をしました。にもかかわらず、未だに「話がしたい」など執拗にロッカーのすみでこそこそ話しかけてきています。彼はその度自分の組合のホームページで理由を明確に述べているので見て欲しいと答えています。

JR東海ユニオンは回答することなく、送った郵便物を「差出人戻し」として戻してきました。新入組合員は東海労ホームページなどで「私が困ったときに労働組合として何もしてくれなかった。」とJR東海ユニオンからの脱退の理由を明確にしています。私たちは再度公開の場での討論に応じる用意があります、私たちJR東海労は以下の内容で公開討論を開催することを申し入れます。

公開の場で討論をしよう！